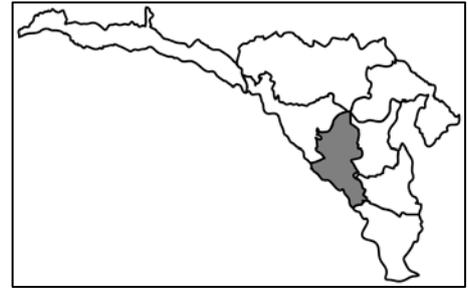


～原町田地域～

◇町目構成◇

中町、原町田、旭町、金森1丁目、本町田の一部、森野の一部



原町田地域は、町田市のほぼ中央部に位置し、西側で境川に面して相模原市と隣接する地域です。原町田地域は、境川と恩田川の間比較的平坦な土地（相模原台地）が多く、恩田川周辺から北側にかけては丘陵地となり、起伏の豊かな地形となります。

町田駅周辺の中心市街地は、「商都まちだ」として、市内だけではなく周辺都市の商業の拠点として栄え、にぎわいのある景観が見られます。

①景観づくりのテーマ

1) 活気とふれあいのある中心市街地の景観づくり

町田駅周辺の中心市街地については、現在の「にぎわい」「回遊性」などの要素を生かし、一定の秩序を保ちながら、町田の中心として誰もが安全に快適に過ごすことのできる、ゆとりとうるおいのある中心市街地の景観づくりを進めます。

2) 街道の歴史的な資源などを生かした快適で魅力的なまち並み景観づくり

町田街道や鶴川街道、鎌倉街道など歴史のある街道や、交通ネットワークの要となる主要な道路が多く集まる特徴を生かし、生活基盤施設の改善や街道沿いに残る歴史的な資源などを生かしながら、快適で魅力的なまち並み景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇台地に広がる市街地

台地と低地の境にある坂道や階段などの空間が開けた場所からは、遠くの緑や斜面に建ち並ぶ住宅の景観を望むことができます。町田市民病院周辺の坂道の眺めや、高台にある養運寺の境内からみる眺望など、遠くまで見通しのきく景観を楽しめる場所が多く見られます。恩田川沿いでは、川の東側から尾根の緑や斜面に建ち並ぶ住宅景観を望むことができます。また、市街地では、建物内から、台地に広がる市街地の景観を一望することができます。

原町田地域ならではの眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

台地と低地の境／見通しのきく坂道・階段／高台の広場・公園／恩田川沿いなど

<農や緑>

◇芹ヶ谷公園や地域の北側に多いまとまりのある緑

地域の北側にはえびね苑などがあり、七国山周辺のまとまりのある緑が見られます。ひなた村の周辺には、せせらぎ水路



見晴らし公園から見るダリア園周辺

のあるなかよし散歩道やピオトープが整備され、憩いの空間になっています。起伏のある地形の地域では、斜面の樹林が、住宅地の中に緑の島のように残る様子も見られ、緑と住宅の織りなす景観が広がります。

また芹ヶ谷公園は、豊かな樹木に囲まれ、駅の近くにありながら豊かな自然の風景と出会えます。国際版画美術館と公園内の緑が一体となり、多くの市民の憩いの場となっています。

まとまりのある緑は、地域のシンボルとして維持・保全し、それらを生かした景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

七国山周辺／えびね苑／芹ヶ谷公園など

<まち並み>

◇基盤の整った住宅地

町田駅の北側には、1930年代から整備された市街地が広がります。現在の旭町や中町などを中心にして、当時の基盤整備をもとに築かれた碁盤の目の道路に、整然としたまち並みがつくられています。

旭町や中町のように基盤の整った住宅地では、整ったまち並みを生かし、まち並みの連続性に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

旭町、中町の整然としたまち並み

◇大規模な中高層住宅団地

本町田住宅、森野住宅などでは、集合住宅が建ち並ぶ特徴的な団地の景観をつくっています。団地内には公園や緑地も多く、年月を経て樹木も大きく生育しており、身近な緑に囲まれた景観が見られます。

大規模な中高層住宅団地では、大きく育った樹木をできる限り残し、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

本町田住宅や森野住宅の敷地内など

◇農地や樹林が残る緑豊かな住宅地

森野や本町田などでは、豊かな樹林が数多く見られ、畑も残るなど、緑の多い住宅地景観が広がっています。

農地や樹林が残る緑豊かな住宅地では、緑の連続性に配慮し、積極的な緑化を行うなど、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

森野／本町田周辺の住宅地

<河川・水辺>

◇多くの人を訪れる境川・恩田川沿い

境川沿いや恩田川沿いには、自転車歩行者専用道路が整備され、ジョギングやウォーキングを楽しむ人が多く見られます。しかし、町田駅周辺の境川の風景は、まちの裏側の印象があり、また、相模原市との境界を流れるため、対岸の景観と調和が図られていない場所もあります。

境川や恩田川では、対岸の景観との調和を図り、河川を生かした快適な景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

境川／恩田川

◇市街地の中にもみられる湧水

市民病院の周辺などには、湧水によるうるおいのある景観が見られます。

市街地の中にもみられる湧水は、できる限り保全し、それらを生かした景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

市街地の中に点在する湧水（市民病院周辺など）

<沿道>

◇歴史のある街道の景観

町田街道や鶴川街道、鎌倉街道など、交通量の多い主要な道路の沿道では、飲食店や物販店など様々な業種の建物が立地し、多様な景観が見られます。しかし、過度な色彩の建物や看板などによって、沿道の一部では統一感のない景観になっています。

街道沿いでは、車で通る人や歩行者にとっても、魅力のある沿道景観をつくります。また、かつてケヤキ並木のあった鎌倉街道の景観の面影を尊重し、街路樹や沿道の樹木の保全や積極的な緑化により緑豊かな沿道景観をつくります。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

町田街道／鶴川街道／鎌倉街道

<にぎわい>

◇「商都」としてにぎわう町田駅周辺

JR町田駅・小田急町田駅を中心に百貨店などの商業施設が集積し、にぎわいのあるまち並みが形成されています。

原町田大通りは、道幅が広く整備された通りで、駅と芹ヶ谷公園をつなぐ通りです。原町田大通りを挟んで両側には、小さな店舗が数多く建ち並び活気のある景観が見られます。

町田駅前通りには、市役所新庁舎の建設が予定されています。新庁舎完成後には、町田駅前通りは庁舎への主要なアプローチとなります。



町田駅前通り

文学館通りには「市民文学館ことばらんど」があり、芹ヶ谷公園内の国際版画美術館へつながる通りでもあります。

駅周辺では、「フェスタまちだ」など毎年多くのイベントが開催されています。イベントには多くの人々が訪れ、普段のにぎわいに加え一層華やいだ雰囲気になります。

しかし、一部には落書きやたばこのポイ捨てなどマナーの低下によって、景観が阻害されているケースが見られます。また、過度な色彩や表現の看板などが見られ、建物の高さや形態、色彩などの統一感がない通りが見られます。小田急線町田駅周辺は、広場が少なく、樹木や憩いのスペースが限られています。

町田駅周辺では、これまで培われてきた活気のある町田の生活風景を尊重し、昔ながらの老舗店舗等を生かしながら、にぎわいのある景観づくりを行います。

だれもが快適に過ごせるよう、オープンスペースや緑の創出により、ゆとりやうるおいのある景観づくりを行います。また、周辺の住宅地に配慮した景観づくりを行います。



町田駅から新庁舎予定地へ続く町田駅前通りは、将来は新庁舎への主要な通りとして、緑豊かで暖かみのあるまち並みづくりを行います。

文学館通りは、文学館や版画美術館を結ぶ通りとして、文化的で人に優しい通りづくりにより、中心市街地の回遊性を高めます。

原町田大通りは、町田駅周辺のシンボルとして、また芹ヶ谷公園へのアプローチとして、活気とふれあいのある通りづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

文学館通り／町田駅前通り／原町田大通り等のにぎわい／老舗店舗／周辺住宅地など

<歴史・文化>

◇寺社仏閣と緑が一体となった景観

菅原神社や本町田遺跡のように、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。また養運寺などの寺社仏閣では、周辺の緑と一体となった景観が見られます。

菅原神社や養運寺、本町田遺跡などの主要な寺社や文化財の周辺では、石畳や桜の木に配慮し、周辺の緑の環境と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

養運寺一帯の樹林地／菅原神社／本町田遺跡



菅原神社

